

JAXA の古藤執行役が資料 38-3(オープンラボ選定結果)を 7 分余で説明した後、8 分弱の質疑応答があった。

池上委員長:有難う御座いました。ご質問どうぞ。ア、どうぞ。

井上:これはあの、新規が 4 件ですか? 継続みたいなものは、どれ位今、動いているんですか?

JAXA 古藤:エエトですネエ、まあ、此の前あの、一回目の時に 10 件御座いまして、ですから 11 件...今、11 件が動いて居ります。

井上:11 件が、4 件と別に...

JAXA 古藤:そうですネ。はい。併せると 11 件 + 4 で 15 件になると。

井上:夫々は、あの、例えば今回提案されたのも、年限が...

JAXA 古藤:ええ、三年間で...ええ、3 年です。ですから 3 年来ると、もう其処で終わります。

井上:で、其処の時に、その、何か、或る種の評価みたいな事が行われて...

JAXA 古藤:ええ、此れも、ですから、先程申しましたが、毎年評価致します。それで若し、成果が上がって無ければ、其処で打ち切りとかですネエ。あと、継続してやって頂くとか。

井上:それからもう一点、その一、先程、段々件数が減ってるって云う、エー、聞こえてる範囲が行っていただと、まあ、或る種斯う、...次々とはアイデアが生まれて来ないって云う事ってのも有るのかも知れませんが、其れだけではない、何て言うんでしょう、今の儘だとやっぱり何かやれる事に限界が

【議事(3)】平成 22 年度第 2 回「宇宙オープンラボ」の選定結果について

あるなって云う様な種類の事ってのは無いんですか? そんな様な事で見直すべき様な処。

JAXA 古藤:矢張りですネエ、あの、我々の方に共同研究者が存在しないといけないと云う規則になって居りますのですネエ、まあ、これはあのあくまでその、スピンイン、スピンアウト両方あるので、其れと我が方の研究成果と併せてやって行くと云うのが主旨で御座い案すので、ですから、**多分の金だけ流して行ければ、それは沢山応募者があるかも知れませんが¹**。唯、そう云う制度では運用してませんので、.....ですから、そう云った意味で、先程あの一、今回の新規提案 6 件と申し上げましたが、実際に声が掛って来るのはもっと数が多い訳ですネ。もっと十何件、実は御座いしましたが、やっぱり**入口のところで**ですネ、あの一、やっぱり**弾かれて行く様なもの²**も御座います。

池上委員長:他? ア、此れ、共同研究者って云うのはどの位協働してるんですか? ジュウキュウ(?)ファクタって言うかね、その、一日何時間とか、そんな感じなんですか。

¹ 其れは其の通りであるが、他の処で似た様な事をやっているのでも、其れもしっかり把握しておかないと、事業仕分けの様な所で簡単に潰されてしまう。文科省自身も宇宙利用の事業化を支援する予算を持っているし、経済活動を支える仕事は経産省の管轄である。

² 優れたアイデアなのに弾かれて、何処にも手を差し伸べる者が居なければ問題であるが、文科省や経産省があるので、何処かが拾うのであれば何の問題も無い。調査しているのだろうか。

JAXA 古藤:いや、もっと低いと思いますネエ。あの一、ですから、定期的に

池上委員長:アア、成程。フォローアップしてる様な感じなんですか。

JAXA 古藤:ええ、ええ。

池上委員長:で、何か問題がある時は、JAXA の方に、あの一、解決の方法があればと云うことで、そう云う様な感じ。

JAXA 古藤:ですから、或る意味で言うと、研究者によっては、多少ばらつきと言いましょか...は、あると思います。

池上委員長:そうすと、共同研究者の数がリミットあるヨって云う事をさっき言われた³けれど、あの、必ずしもそうじゃない訳ですヨネ。其の位の、若し、ジョブで済むんであれば、本務をやって、あの一、プラスアルファ位で済むんであればネ...

JAXA 古藤:ええ、ですから、委員長仰る様に、我々自身も、逆に、JAXA の内部の人達にもう少し啓蒙しなきゃいけない⁴のかも知れません。はい、はい。

池上委員長:分かりました。.....はい、どうぞ。

野本:あの、今のに関連してるんですけれども、JAXA の中の人が、

³ 若し、質疑応答の中で言った事であるなら、一寸意味が違う様である。「提案が有った時に、其の共同研究者への名乗りがなければ成立しない。」と云う意味で、「共同研究者の負担が高い。」と云う意味ではない様に思える。JAXA は技術開発の任にあるので、JAXA が興味を持つものだけを採用して当然だろう。

⁴ JAXA は民間人が興味を持つ事の遂行を助ける者ではない。日本が宇宙活動を行なう為に必要な技術を開発する者である。

【議事(3)】平成 22 年度第 2 回「宇宙オープンラボ」の選定結果について

斯う云う研究をしたいんだけど、斯う云う事を一緒に研究してくれる会社って云うのは無いのかと云う様な問い合わせって言うか、逆に JAXA の中の人間が云うって云う事は、今迄あったんですか？ それとも、大体、外から斯う云う事がやりたいと云う事で、中の人間を見付けると云う形...

JAXA 古藤:要するに、研究者自身で探して来られる方もいらっしやいます。非常に、我々がもう、知らない事が多いもんですから、逆に、そう云う畑って言いましょか、そう云うとこの方が、やっぱり研究者の方が間口広いので、そっちの方が多いと思いますネ。

池上委員長:あの、ですからネ、古藤さん非常にあの、遠慮がちにお話になってるんだけど、此れあの、オープンラボってのは一つの目玉だったですヨネエ。

JAXA 古藤:ええ。

池上委員長:で、あの、外と一緒にやるって云う事でネエ。今の話ですと、もう其の事 JAXA の中じゃあ忘れられちゃってるって事？

JAXA 古藤:いや、そんな事はないと思います。ええ。そう云った意味ではあの、此れもう、ホームページにも載せてありますし...

池上委員長:そうですねエ。

JAXA 古藤:そう云う意味で言うと、例えば斯う云う機会もそうですし、理事会なんかでもそう云う話させて頂いてますし、産業連携推進会議と云うの、実は内部に御座いまして、そう云う中でも職員に対しては話をして居りますので、委員長が仰

った様な点は、まあ、無い⁵かなとは思って居ります。

池上委員長: やっぱり、「やりたい人、手を挙げろ。」って云う様な調子でやってるから⁶、やっぱり国研って皆そうなんですヨネ。そう言っちゃ怒られる。ホントは、寧ろその、戦略的にこれをやるんだってんであるとすれば、寧ろ示してネ、やる様な事が出来れば良いんですけど、現実問題としては中々難しくて、一応理解はしてます。

JAXA 古藤: あの一、我々が指名してですネエ、結局、又審査する訳ですネエ。其処の何て言うんでしょうか、ジレンマみたいな、一寸やっぱりあり⁷まして、あの一、ジンジンノサイヨン

⁵ 此の制度を司る長としての努力は其れで良いが、「広く世の中の衆智を結集して、宇宙活動に必要な技術を開発、習得する。」と云う活動は、要素技術を研究している者や、システム要求を設定しようとする中で国内の企業や研究者の力不足を感じている、具体的な仕事をしている人達が良く知っていると思う。そう云う人達が日頃の活動で切り開いた人脈を活用させれば良い。

⁶ 極めて大切な処を指摘なされた。制度を運用する人達は「やりたい人、手を挙げろ。」と言うしか方法は無いが、研究者や、部品調達をする者は、常々アンテナを広げ、「感度を高める努力をしている。そう云う人を活用すれば良いのである。

⁷ JAXA の中で役割分担をすれば良いのである。システム開発の人は、自分自身が予算獲得の努力をしなくとも、此の制度で採用されれば予算が付いたのと同じ成果が得られるのである。JAXA 内の研究者、戦略部品の開発担当は、研究開発予算を獲得するか、協力者を探して此の制度に採用されるような支援をすれば良いのである。どちらの努力も怠れば予算は得られないのである。

【議事(3)】平成 22 年度第 2 回「宇宙オープンラボ」の選定結果について

テイゾウ(?) 実験して下さいと言いながら、落とす訳ですヨネエ。そう云う処も有るんで、一寸痛し痒し⁸みたいな感じですよネエ。

池上委員長: 他に?

野本: あの、これは、今回のとは関係ないんですけど、コスモードの此のアレを配布した製品で云うのは、今幾つ位になってますか?

JAXA 古藤: 今 20 件ですネ、20 件御座います。

野本: 大分増えたんですか?

JAXA 古藤: 増えてますネエ。あの一、そう云った意味で、申請も未だ、今、結果的には今 20 件ですけども、申請中のものも御座います。

野本: 売れてるんですかって云うのは分からないですネエ。

JAXA 古藤: あの一、実は、幾らぐらい売れてんだって話も、実は役員から言われてます⁹ので、一応調査は継続して居ります。

森尾: 此れ、6 年目って云う事なんで、物んなったのは幾つ位?

JAXA 古藤: エエトですネエ、(後ろの傍聴席に向かって) アレも

⁸ 「実験して下さい。」と頼む人と、「選考基準に満たない。」と言って落とす人が同じなら「痛し痒し」だが、別の人、別の部署なら「痛くも痒くもない。」のではないか。

⁹ 研究開発対象を発掘するより、実施したものが其の後どうなっているのかを調べる事の方が、精度を司る部署として重要な業務ではないのか。其れを役員に指摘されたら、此の様な公開の場で発表する事は恥ずかしい事なのではないか。

そうだな、此の前のチリの、あの一、文科省さんのアレで、あの一、宇宙下着って言うか、インナウェアを送らして頂きました¹⁰が、アレなんかはあの一、売れてます。もう何十着かな、何百着...市販されてまして、其れは結構売れてます。後はまあ、あの一、例のあの、フェアリングの塗料ですネエ、断熱塗料。あれなんか建築資材として、結構売れてますし、あの、海外展開もすると云う話を聞いて居ります。

森尾: そう云うのもっと、ホームページ¹¹...ムニャムニャ。

JAXA 古藤: ええ、一応、宣伝はさして頂いて居るんですが、あの、我々のモン(?)ですから、そう云う講演会等ですネエ、そう云った事例を挙げまして、あの、冊子も作って居りますし、あの一、そう云うところをお話をさせて頂いております。ですから、逆に、こっちに参加して下さいと云う様なお願いを

一杯して居る訳ですけども、.....

池上委員長: 一応、対象は国内だけなんですネ、此れは?

JAXA 古藤: ええ、国内です、はい。

池上委員長: 他に? あの、是非、あの、上手くサポートして、成功する様にして下さい。

JAXA 古藤: はい、分かりました。有難う御座います。

池上委員長: じゃ、どうも、有難う御座いました。

¹⁰ 鉱山に閉じ込められた人たちと考えると良いのだろうか。そうだとすると、此れだけの極限状態の人しか利用しないのであれば、少々当て外れなのだろうか。雨滴が外から中に浸透せず、汗の蒸気が中から外へ貫通し、蒸れない事が売りのゴアテックスはゴルフのプロ・ショップで見かけ、汗を良く吸収し、其の汗を良く蒸発させると云うTシャツはユニクロで見かける。商品とは其の位良く目に止まるものだろう。

¹¹ 誰に動機付けをするかに依り、ホームページは一般人向けなので、起業家による偶然のアクセスに頼る事になる。企業家はきっと違う財源を探しているだろう。一方、やりたい事は沢山あるが、金と時間が足りない JAXA の研究者は、此の制度に利用価値を見出すだろうから、其の人達に事業の維持・発展を期待するのが良いと思う。